# Unified Managerのレポート

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/reporting/concept_unified_manager_reporting.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

# 目次


Unified Managerのレポート . . . 1
- Active IQ Unified Manager レポートについて学ぶ . . . 1
- レポートを生成するためのアクセス ポイント . . . 1
  - Active IQ Unified Manager でレポート機能にアクセスする 3 つの方法を紹介します . . . 1
  - Active IQ Unified Manager でカスタムレポート用のデータベースにアクセスする . . . 2
  - レポート作成のためのActive IQ Unified Manager REST APIの使用 . . . 2
- Active IQ Unified Manager のレポートについて . . . 3
- Active IQ Unified Manager におけるビューとレポートの関係を理解する . . . 3
- Active IQ Unified Manager のレポートの種類について説明します . . . 4
  - Active IQ Unified Manager レポート . . . 4
- Active IQ Unified Manager のレポートの制限事項について . . . 5
  - Unified Managerの以前のバージョンからの既存のレポート . . . 5
  - スケジュールとレポートの関係 . . . 6
  - レポートの保護 . . . 6
  - イベント レポート . . . 6
  - レポートの添付 . . . 6

# Unified Managerのレポート

## Active IQ Unified Manager レポートについて学ぶ

Active IQ Unified Manager （以前はOnCommand Unified Manager）は、ONTAPストレージシステムのレポートを表示、カスタマイズ、ダウンロード、およびスケジュール設定する機能を提供します。レポートには、ストレージ システムの容量、健全性、パフォーマンス、セキュリティ、保護関係に関する詳細を表示できます。

Active IQ Unified Manager 9.6で導入された新しい Unified Manager のレポートおよびスケジュール機能は、Unified Manager バージョン9.5で廃止された以前のレポートエンジンに代わるものです。

ネットワークをさまざまな側面（ビュー）から確認することで、容量、健全性、パフォーマンス、セキュリティ、保護データに関する実用的な情報を得ることができます。このビューは、列の表示 / 非表示の切り替えと並べ替え、データのフィルタリングとソート、結果の検索によってカスタマイズできます。カスタム ビューは、再利用できるように保存したり、レポートとしてダウンロードしたりできるほか、定期レポートとしてスケジュール設定してEメールで配布することができます。

Microsoft® Excel形式でビューをダウンロードしてカスタマイズできます。複雑な並べ替え、フィルタ、ピボット テーブル、グラフなど、Excelの高度な機能を使用できます。カスタマイズしたExcelレポートに問題がなければ、Excelファイルをアップロードして、レポートの定期的な生成時や共有時に使用できます。

Unified Managerでは、ユーザ インターフェイスからレポートを生成する以外にも、以下の方法を使用して健全性、セキュリティ、パフォーマンスのデータを抽出できます。

- Open Database Connectivity（ODBC）およびODBCのツールを使用してデータベースに直接アクセスし、クラスタの情報を取得する。
- Unified Manager REST APIを実行して、確認したい情報を取得します。

このリリース以降のActive IQ Unified Managerでは、レポート機能が次のように拡張されています。

- 設定したスケジュールに従ってレポートのEメールが送信されます。オンデマンド レポートを生成した場合もEメールが送信されます。
- レポートのファイル名とメタデータには、レポートの生成元のホスト名が含まれます。そのため、ファイル名が変更されてもレポートの生成元のホスト名を特定できます。

# レポートを生成するためのアクセス ポイント

### Active IQ Unified Manager でレポート機能にアクセスする 3 つの方法を紹介します

Unified Managerでは、UI、MySQLデータベースクエリ、およびREST APIを使用して、クラスタに関する情報を収集し、レポートを作成できます。

ここでは、Unified ManagerのUIを使用したレポート作成とスケジュール設定について説明します。

Unified Managerが提供するレポート機能にアクセスするには、次の3つの方法があります。

- UIのインベントリ ページからデータを直接抽出する。

- Open Database Connectivity（ODBC）およびODBCのツールを使用して、使用可能なすべてのオブジェクトにアクセスする。
- Unified Manager REST APIを実行して、確認したい情報を取得します。

ここでは、Unified ManagerのUIを使用したレポート作成とスケジュール設定について説明します。

## Active IQ Unified Manager でカスタムレポート用のデータベースにアクセスする

Unified Managerは、監視対象のクラスターからのデータを保存するためにMySQLデータベースを使用します。データはMySQLデータベース内の様々なスキーマに永続的に保存されます。

次のデータベースからすべてのテーブルのデータを使用できます。

| データベース | 説明 |
| --- | --- |
| netapp_model | ONTAPコントローラのオブジェクトに関するデータ。 |
| netapp_model_view | ONTAPコントローラのオブジェクトに関するデータ。レポート ツールでの使用に適しています。 |
| netapp_performance | クラスタ固有のパフォーマンス カウンタ。 |
| ocum | Unified Manager アプリケーションのデータおよび情報は、UI のフィルタリング、ソート、および一部の派生フィールドの計算をサポートします。 |
| ocum_report | インベントリの構成と容量関連の情報のデータ。 |
| ocum_report_birt | インベントリ設定と容量関連データのビュー。レポート ツールでの使用に適しています。 |
| opm | パフォーマンスの設定としきい値の情報。 |
| scalemonitor | Unified Managerアプリケーションの健全性およびパフォーマンスの問題に関するデータ。 |
| vmware_model | NetAppストレージでホストされているデータストアのVMwareオブジェクト データ。 |
| vmware_model_view | NetAppストレージでホストされているデータストアのVMwareオブジェクト データのビュー。レポート ツールでの使用に適しています。 |
| vmware_performance | NetAppストレージでホストされているデータストアのVMwareパフォーマンス カウンタ データ。 |

レポート ユーザ（レポート スキーマ ロールを持つデータベース ユーザ）は、これらのテーブル内のデータにアクセスできます。このユーザーは、Unified Manager データベースから直接、レポートやその他のデータベースビューへの読み取り専用アクセス権を持っています。このユーザーは、ユーザーデータまたはクラスタ認証情報を含むテーブルにアクセスする権限を持っていません。

## レポート作成のための**Active IQ Unified Manager REST API**の使用

REST APIを使用すると、Unified Managerによって取得された健全性、容量、パフォー

マンス、およびセキュリティ情報を表示することで、クラスターの管理を支援できます。

REST APIはSwagger Webページから利用できます。Swagger WebページにアクセスしてUnified Manager REST APIドキュメントを表示したり、API呼び出しを手動で行ったりすることができます。Unified ManagerのWeb UIのメニューバーで、「ヘルプ」ボタンをクリックし、「APIドキュメント」を選択します。Unified Manager REST API の詳細については、"Active IQ Unified Manager REST APIでの作業の開始"を参照してください。

REST APIにアクセスするには、オペレータ、ストレージ管理者、アプリケーション管理者のいずれかのロールが必要です。

# Active IQ Unified Manager のレポートについて

レポートにはストレージ、ネットワーク、サービス品質、および保護関係に関する詳細情報が表示されます。この情報を基に、潜在的な問題を発生前に特定して解決することができます。

ビューをカスタマイズした場合は、再利用できるように名前を付けて保存できます。カスタマイズしたビューに基づいてレポートを定期的に実行するようにスケジュール設定し、他のユーザと共有できます。また、Excel形式でビューをダウンロードし、高度なExcel機能を使用してカスタマイズしたあとでファイルをUnified Managerに再度アップロードすることもできます。カスタマイズしたビューを使用してレポートをスケジュール設定すると、アップロードしたExcelファイルを使用してレポートを作成し、共有することができます。

スケジュール設定されたレポートは、すべて[レポート スケジュール]ページから管理できます。

レポートを操作するには、アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

レポートは、カンマ区切り値（CSV）、Excel、またはPDFファイルとしてダウンロードできます。

# Active IQ Unified Manager におけるビューとレポートの関係を理解する

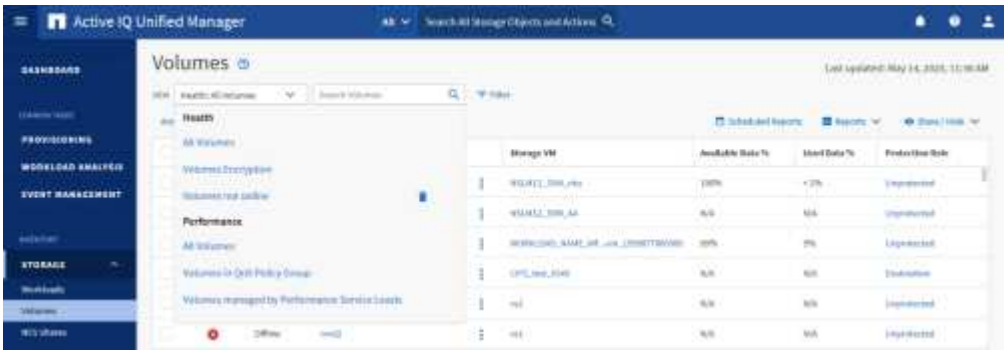
ビューおよびインベントリ ページをダウンロードまたはスケジュール設定したものがレポートです。

ビューとインベントリ ページはカスタマイズして保存し、再利用することができます。Unified Managerで表示できるほぼすべての情報を、レポートとして保存、再利用、カスタマイズ、スケジュール設定、共有できます。

[表示]ドロップダウンで削除アイコンのある項目は、自分または他のユーザが作成した既存のカスタム ビューです。アイコンのない項目は、Unified Managerのデフォルト ビューです。デフォルト ビューを変更または削除することはできません。

- リストからカスタム ビューを削除すると、そのビューを使用するExcelファイルまたはスケジュール済みレポートもすべて削除されます。

- カスタム ビューを変更した場合、そのビューを使用するレポートに変更が反映されるのは、レポート スケジュールに従って次回レポートが生成されてEメールで送信されるときです。ビューを変更する場合は、変更内容がExcelで行ったレポートのカスタマイズに対応することを確認してください。必要であれば、Excelファイルをダウンロードして必要な変更を加え、ビューに対して再度アップロードすれば、Excelファイルを更新できます。




削除アイコンが表示され、ビューやスケジュール済みレポートを変更したり削除したりできるのは、アプリケーション管理者ロールまたはストレージ管理者ロールのユーザだけです。

# Active IQ Unified Manager のレポートの種類について説明します

次の表は、カスタマイズ、ダウンロード、およびスケジュール設定が可能なレポートとして使用できるビューとインベントリ ページの一覧です。

## Active IQ Unified Manager レポート

| Type | ストレージまたはネットワーク オブジェクト |
|---|---|
| Capacity | クラスタ<br>アグリゲート<br>ボリューム<br>qtree |
| Health | クラスタ<br>ノード<br>アグリゲート<br>Storage VM<br>ボリューム<br>SMB/CIFS共有<br>NFS 共有 |

| Type | ストレージまたはネットワーク オブジェクト |
| --- | --- |
| Performance | クラスタ<br>ノード<br>アグリゲート<br>Storage VM<br>ボリューム<br>LUN<br>NVMeネームスペース<br>ネットワーク インターフェイス（LIF）<br>ポート |
| QoS | 従来のQoSポリシー グループ<br>アダプティブQoSポリシー グループ<br>パフォーマンス サービス レベル ポリシー グループ |
| ボリュームの保護関係（［ボリューム］ページから） | すべての関係<br>過去1カ月の転送ステータス<br>過去1カ月の転送速度 |
| セキュリティ | Storage VM<br>クラスタ |

# Active IQ Unified Manager のレポートの制限事項について

新しい Active IQ Unified Manager のレポート機能には、いくつかの制限事項があります。

## Unified Managerの以前のバージョンからの既存のレポート

スケジュールと受信者を編集できるのは、Unified Manager 9.5以前のリリースで作成およびインポートされた既存のレポート（.rptdesignファイル）のみです。Unified Manager 9.5以前の標準レポートをカスタマイズしたレポートは、新しいレポート ツールにインポートされません。

**rptdesign**ファイルからインポートした既存のレポートを編集する必要がある場合は、次のいずれかの操作を実行して、インポートしたレポートを削除してください。

- 新しいビューを作成し、作成したビューからレポートをスケジュールする（推奨）
- レポート上にカーソルを置き、SQLをコピーして、外部ツールを使用してデータを抽出する

デフォルト ビューは、カスタマイズしなくてもレポートとして生成できます。カスタム レポートは、新しいレポート機能を使用して再作成できます。

## スケジュールとレポートの関係

保存したレポートごとに、受信者を任意に組み合わせて複数のスケジュールを作成できます。ただし、同じスケジュールを複数のレポートで再利用することはできません。

## レポートの保護

適切な権限があるユーザであれば、誰でもレポートを編集または削除できます。保存したビューやスケジュールを、他のユーザが削除または変更できないようにする方法はありません。

## イベント レポート

イベント ビューをカスタマイズしてレポートをCSV形式でダウンロードすることはできますが、イベント レポートを繰り返し生成して配信するようにスケジュール設定することはできません。

## レポートの添付

レポートをEメールの本文として送信することはできません。レポートはPDF、Excel、またはCSV形式の添付ファイルとして送信されます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。